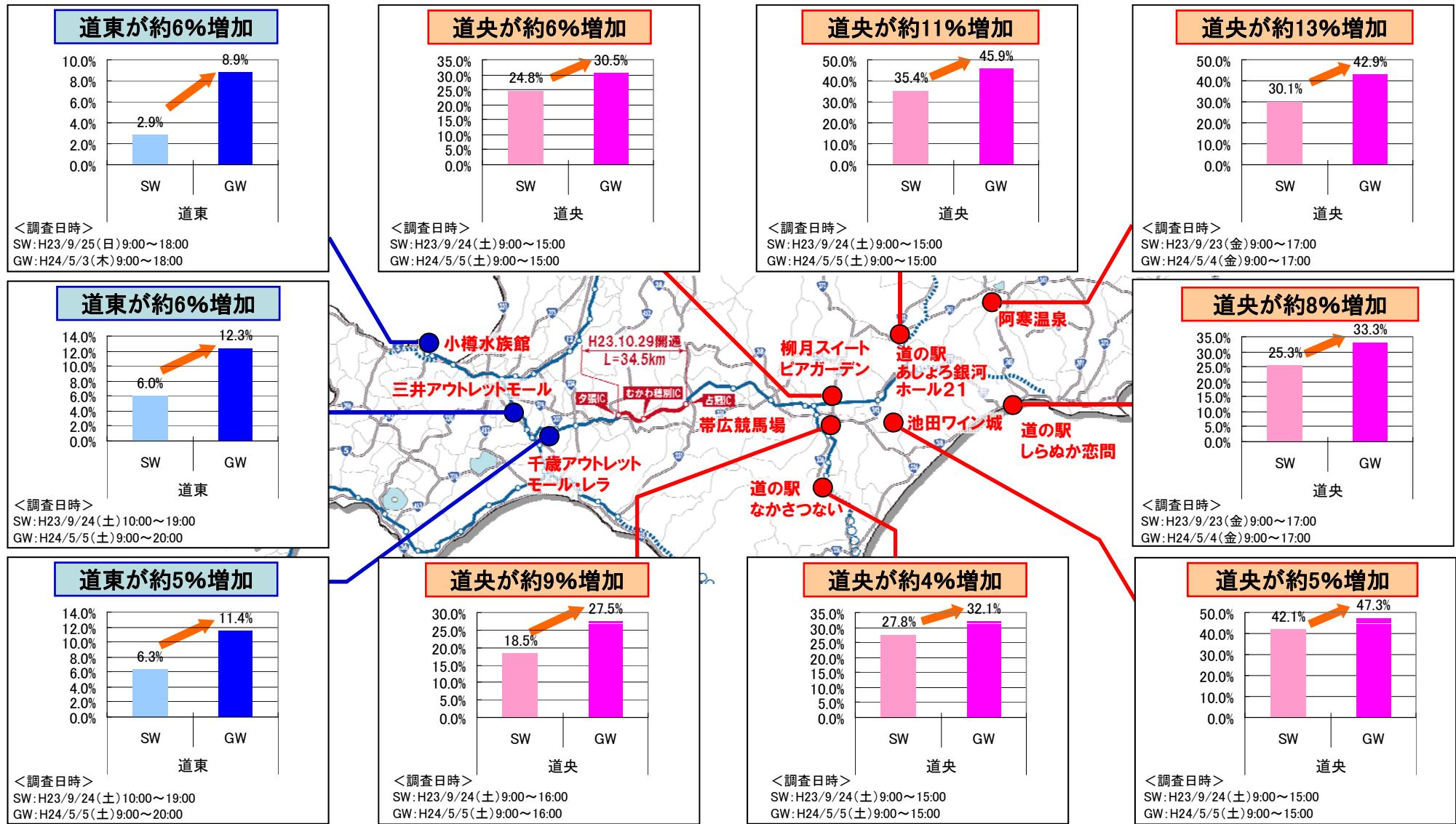


I 圏域間交流の促進(効果①) 来訪客割合の増加

○連休中における道東の観光施設では道央からの来訪客割合が増加。



※施設駐車場での調査

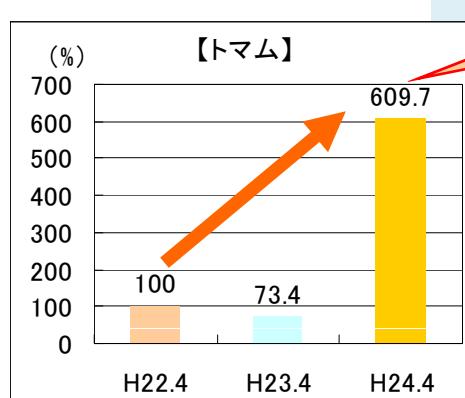
「道東」の割合: 来訪者のうち帯広、釧路ナンバーの割合
「道央」の割合: 来訪者のうち札幌、室蘭ナンバーの割合

I 圏域間交流の促進(効果② 観光アクセスの向上)

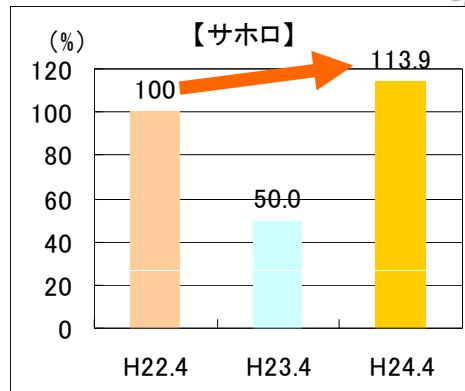
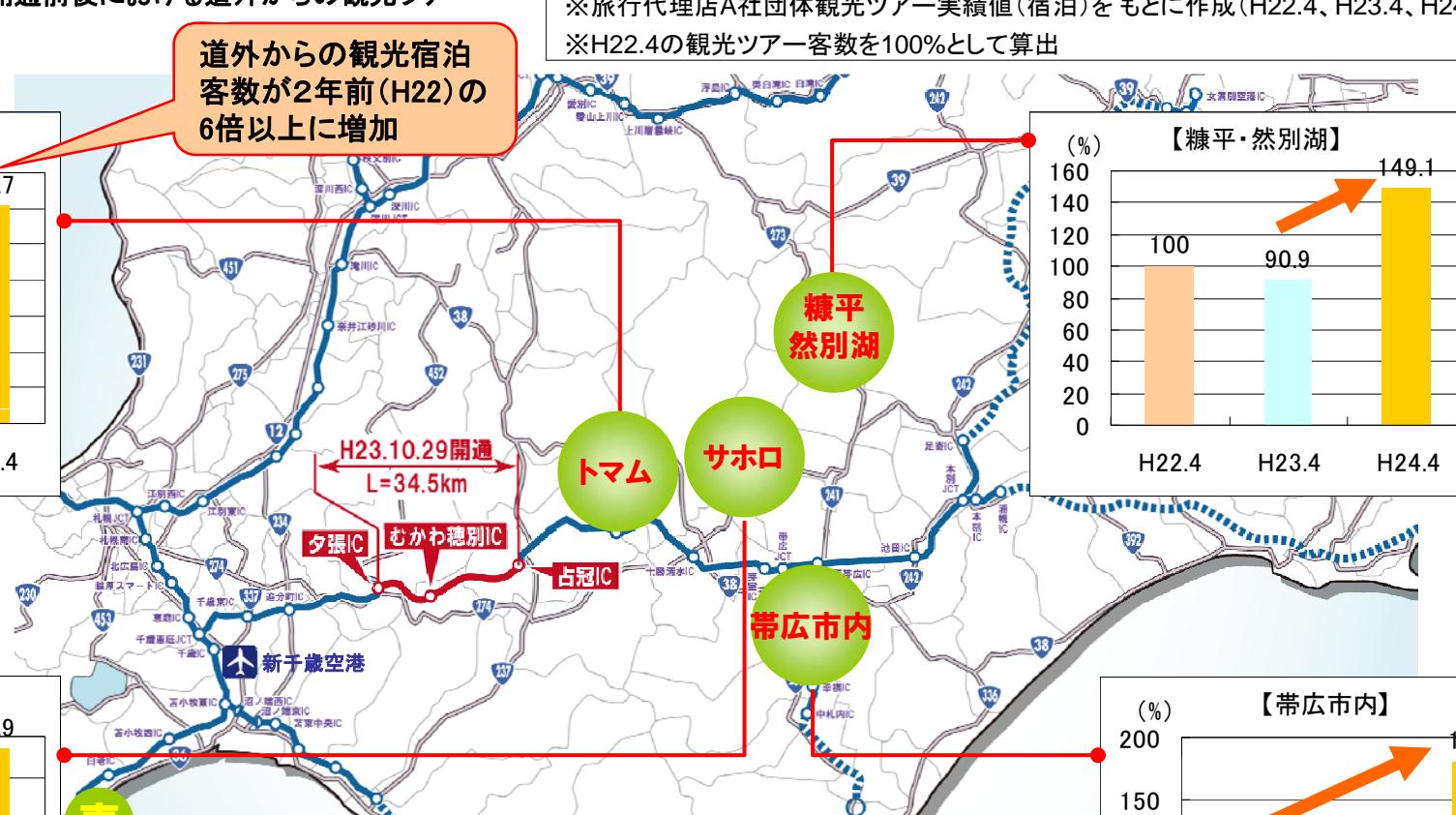
○人気の道東観光では、新千歳空港から道東方面への道外からの観光宿泊者が増加。(旅行代理店A社が取り扱ったツアーデータ)

▼旅行代理店A社が取り扱った開通前後における道外からの観光ツアー客数(宿泊数)の変化

※旅行代理店A社団体観光ツアー実績値(宿泊)をもとに作成(H22.4、H23.4、H24.4)
※H22.4の観光ツアー客数を100%として算出

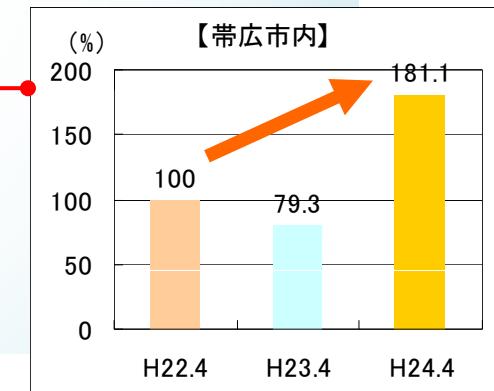


道外からの観光宿泊客数が2年前(H22)の6倍以上に増加



◆観光事業者の声

- ・道東方面と新千歳空港とのアクセスが向上したことにより、道東観光の入り込み増が期待されるのみならず、定番で人気のある道外観光ツアー全体のさらなる観光入り込み増といった相乗効果が期待できる。
- ・昨年度は東日本大震災の影響により観光客数が減少していたが、今年度の回復に期待している。



参考（交流人口の拡大）

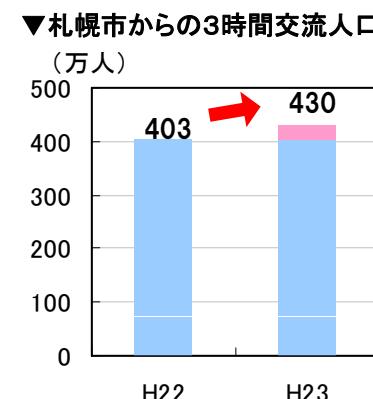
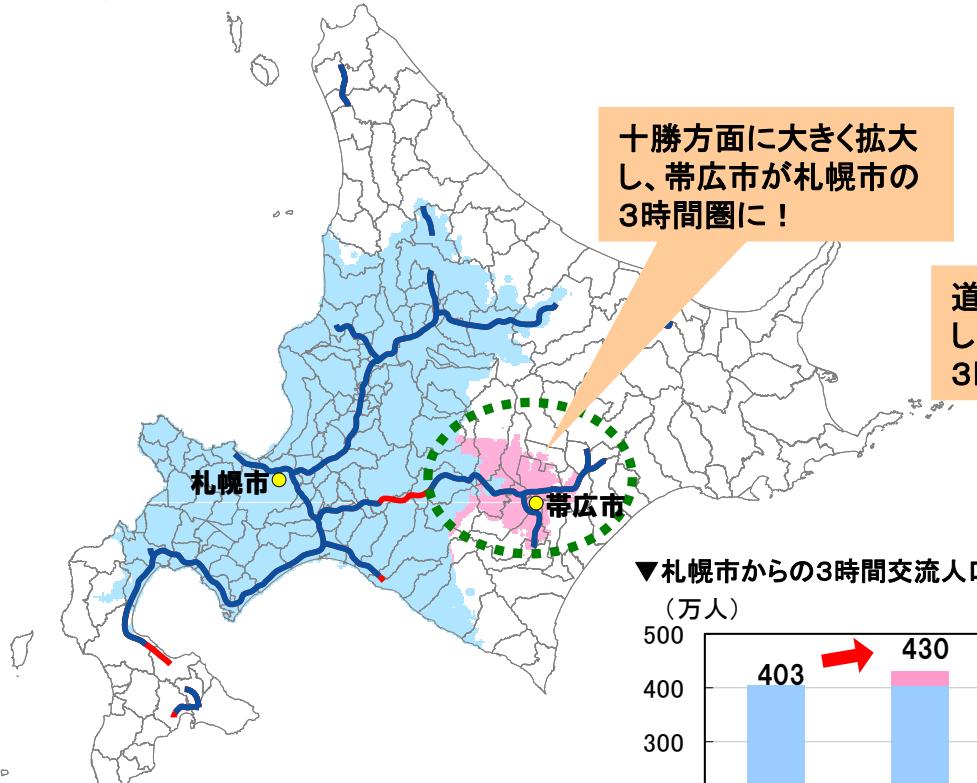
- 札幌市と帯広市を3時間で結ぶ高速ネットワークが完成。
- 帯広市からの3時間圏^{注1)}に札幌市が加わり、交流人口^{注2)}が大幅に拡大。

注1)所要時間3時間以内で移動できる地域で、日帰り行動の目安として用いた

注2)その地域に日帰り(3時間)で訪れることができる人口

または、その地域の人が日帰り(3時間)で会うことのできる圏域人口

▼札幌市からの3時間圏

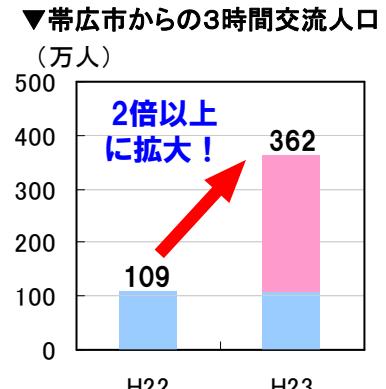


■ H22年度までに3時間圏の地域
■ H23年度に3時間圏に入った地域
□ カバー圏外

高規格幹線道路

■ 平成22年度までの開通区間
■ 平成23年度の開通区間

▼帯広市からの3時間圏



2倍以上
に拡大！

※3時間圏は、一定の経度、緯度にて地域を網の目状に区画した標準地域メッシュ・システムのうち、
地域を1km四方で区画した3次メッシュを用いて図示

II 安全安心の向上(効果① リダンダンシーの確保)

○平成24年2月の空知・石狩地域を襲った豪雪では、道央自動車道で通行止めが発生。

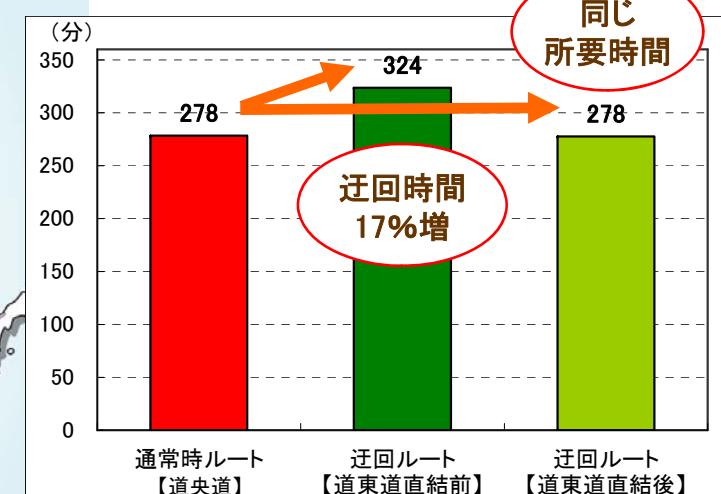
○道東圏～道央圏の物流ルートでは、道東道が代替ルートとして機能。

▼北見圏～道央圏間の物流における通常時及び迂回ルートの状況



▼通常時及び迂回ルートの所要時間

・北見市～新千歳空港間



資料:H22道路交通センサス(国土交通省)

声

◆物流事業者の声

- ・新千歳空港間の輸送において、道東道直結後は、道東道を迂回しても所要時間が変わらなくなりました。そのため、道央道が通行止めとなった場合でも、道東道を利用するルートに変更することで通常のスケジュール通り配送できました。
- ・また、新千歳空港に向かう際も道東道を利用するルートに変更し、通常通り予定した飛行機に間に合うことができました。

II 安全安心の向上(効果② 定時性の確保)

○道東自動車道の開通によって、夕張～十勝清水間の冬期悪天候時の定時性を確保。



	冬期無積雪時 所要時間(分) A	冬期悪天候時 所要時間(分) B	差(分)	倍率 B/A
道東道	57	67	10	1.2倍
R274	110	198	88	1.8倍
差(分)	53	131	—	

※それぞれの所要時間は実走調査による。
冬期無積雪時 : H23/12/3 (土) 9:00～14:00
冬期悪天候時 : H24/1/15 (日) 8:00～12:00